

# ハーモニー

Harmony

第68号 2015年9月10日発行  
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座  
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

## 目次

第23回学術集会のお誘いと企画紹介……………1	2015年度総会告示……………7
第23回学術集会プログラム……………2	学会誌第19巻第2号の投稿原稿の募集……………7
学会活動委員会の取り組みについて……………5	理事会議事録報告(要旨)……………7
「災害について考える」②……………5	監事の紹介・幹事の紹介……………8
「私の実践と研究」リレーレポート⑩……………6	事務局より……………8
トピックス……………6	編集後記……………8

### 日本養護教諭教育学会

#### 第23回学術集会(熊本)のお誘いと企画紹介

学会長 松田 芳子(熊本大学)

今夏は記録的な猛暑の連続でしたが、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて教育・研究・研修にお励みの事と存じます。第23回学術集会が近づいてまいりました。学術集会へのお誘いと企画紹介をさせていただきます。

メインテーマは「学び続ける養護教諭であるために～養成・行政・学校現場をつなぎ、広げ、深める～」としました。これまで、養成・教育行政・学校現場のそれぞれにおいて、養護教諭の資質能力の形成に係る教育・研究・研修がなされてきています。教職生活の生涯にわたり、学び続ける養護教諭であるために、各々が役割を果たしつつ、円滑につながり、さらに連携・協働が機能していくにはどのような課題や方策があるのかを、本学術集会全体を通して一緒に考え、深める機会にできたらと考えております。

初日(10日)午前のプレコンgresでは、「養護教諭の資質能力の向上について」を行います。学術集会最初のプログラムは、「学び続ける養護教諭であるために～本課程における養成の現状を通して～」と題し学会長講演をいたします。次に、特別講演「感染症と社会」と題し、本学学長原田信志氏にご講演をいただきます。シンポジウムは、メインテーマと同じテーマで「学び続ける養護教諭であるために～養成・行政・

学校現場をつなぎ、広げ、深める～」を企画しました。まず、熊本県の養護教諭3名による鼎談、それを受けて養成、教育行政、養護教諭のそれぞれのお立場からシンポジスト3名にご発表いただきます。続いて、学会助成金研究発表、学会活動委員会報告を行います。

2日目(11日)は、教育講演「キレイやすい子へのアンガーマネジメント～脳科学からのアプローチ～」と題し、早稲田大学教授本田恵子氏にご講演をいただきます。続いて、一般演題(口演19題、ポスター15題)を午前中に4会場にて実施します。昼食は、企業の協賛によるランチョンセミナーにご参加下さい。午後は、総会、ワークショップ「携帯電話・スマホの使用について」、「養護教諭の資質向上のための研修づくり」、「論文、実践研究の書き方、まとめ方」の3題を企画しました。最後まで活発な討論、交流をお願いいたします。11年ぶりの九州での開催となります。会場は、JR熊本駅前にある複合施設「くまもと森都心プラザ」です。熊本の情報交流の拠点として「観光・郷土情報センター」、「プラザ図書館」、「プラザホール」などで構成されています。熊本市では10月中「秋のくまもとお城まつり」の各種イベントが開催されています。その頃の阿蘇は、スキの穂が揺れ、美しい秋景色となっていると思います。熊本の秋をお楽しみ下さい。実行委員一同力を合わせて、日本養護教諭教育学会にふさわしい内容にするために、鋭意努力を重ねております。皆様のご参加を心からお待ちしております。

## 日本養護教諭教育学会 第23回学術集会プログラム

(2015年8月15日現在)

メインテーマ：「学び続ける養護教諭であるために～養成・行政・学校現場をつなぎ、広げ、深める～」

期 日：2015年10月10日(土) 12:00～11日(日) 16:10

会 場：くまもと森都心プラザ(熊本市西区春日1丁目14番1号)

◀10月10日(土) 9:00～受付 5階ホワイエ▶

◇プレコンgres (9:30～11:30) 5階多目的室

「養護教諭の資質能力向上検討について」 日本養護教諭教育学会 「養護教諭の資質能力向上検討ワーキング」

◇開会行事 (12:00～12:10) 5階 プラザホール

◇学会長講演 (12:20～12:50) 5階 プラザホール ……………座長 今野 洋子(北翔大学)  
「学び続ける養護教諭であるために一本課程における養成の現状を通して」 松田 芳子(熊本大学)

◇特別講演 (13:00～14:00) 5階 プラザホール ……………座長 後藤ひとみ(学会理事長・愛知教育大学)  
「感染症と社会」 原田 信志(熊本大学学長)

◇シンポジウム (14:10～17:00) 5階 プラザホール

テーマ「学び続ける養護教諭であるために～養成・行政・学校現場をつなぎ、広げ、深める～」

コーディネーター 三木とみ子(女子栄養大学) 川下裕美子(熊本市立白川中学校)

鼎 談 緒方 加奈(熊本県五木村立五木中学校)

宮本 千夏(熊本県立熊本工業高校)

森川美奈子(熊本県長洲町立清里小学校)

シンポジスト 佐藤 倫子(札幌市立二条小学校)

外山 恵子(愛知県総合教育センター)

塚原加寿子(新潟青陵大学)

◇学会助成金研究発表 (17:10～17:40) 5階 プラザホール ……………座長 鈴木 裕子(国士舘大学)  
「小・中学校における食物アレルギー児童生徒対応のための校内支援体制の構築  
—応急処置体制に対する教師の意識調査からの検討—」 高田 薫(鎌倉市立大船小学校) 他

◇学会活動委員会から (17:50～18:20) 5階 プラザホール

◇懇親会 (19:00～21:00) A N Aクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

◀10月11日(日) 8:30～受付 5階ホワイエ▶

◇教育講演 (9:00～10:00) 5階 プラザホール……………座長 松田 芳子(熊本大学)  
「キレやすい子へのアンガーマネジメント～脳科学からのアプローチ～」 本田 恵子(早稲田大学教授)

◇ランチョンセミナー (12:20～13:20) 6階 会議室A B……………座長 上野 久代(熊本市立出水南小学校)  
「子どもの成長と、その障害」 向井 徳男(旭川厚生病院)

◇総会 (13:30～14:30) 5階 プラザホール

◇ワークショップ (14:40～16:10)

○ワークショップ I 5階 多目的室

- 「携帯電話・スマホの使用について」 講師 桑崎 剛（内閣府ネット環境整備普及啓発検討会議委員長）  
 ○ワークショップⅡ 6階 会議室A B  
 「養護教諭の資質向上のための研修づくり」 講師 澤 栄美（熊本市立白川小学校）他  
 ○ワークショップⅢ 6階 会議室C  
 「論文、実践研究の書き方、まとめ方」 講師 学術担当理事

◇口演発表Ⅰ（10:10～11:10） 5階 プラザホール……………座長 河田 史宝（金沢大学）  
 <養成教育>

- I-1 養護教諭養成学生の多職種連携に対する認識～「模擬ケース会議」経験後の感想から～  
 ○鈴木 薫（就実大学）他  
 I-2 養護教諭の複数配置に関する調査研究（第1報）～養護教諭養成課程学生を対象として～  
 ○山崎 隆恵（北海道教育大学札幌校）他  
 I-3 養成課程における養護教諭のマネジメント力の育成 ○上村 弘子（岡山大学）他  
 <原論、歴史>  
 I-4 養護教諭の倫理綱領(案)を人々に理解してもらうことの意義と活動 ○鎌田 尚子（足利工業大学）他

◇口演発表Ⅱ（11:15～12:00） 5階 プラザホール……………座長 斉藤ふくみ（茨城大学）  
 <現職教育>

- Ⅱ-1 養護教諭のスキルラダー開発 ～保健教育について～ ○中村富美子（沼津市立大岡南小学校）他  
 Ⅱ-2 学校における養護教諭の頭部外傷救急対応能力向上の検討  
 ～基礎知識テストを媒介にして講義のレディネスと講義後の正答率から～ ○中島 敦子（梅花女子大学）他  
 Ⅱ-3 校内研修での養護教諭の役割と研修の視点 ○米井美紀子（宇土市立緑川小学校）

◇口演発表Ⅲ（10:10～10:55） 5階 多目的室……………座長 圓岡 和子（愛知県立三好高等学校）  
 <養護実践>

- Ⅲ-1 養護活動における子どもと養護教諭のニーズの共通化の営み  
 ～保健室での子どもと養護教諭の相互行為のエスノグラフィック的研究（第1報）～  
 ○新谷ますみ（弘前市立津軽中学校）他  
 Ⅲ-2 「気持ち悪い」と訴えて保健室を利用する中学生への対応の分析  
 ～訴えをもたらす要因の複雑性に焦点をあてて～ ○高橋 妙子（上越教育大学大学院）他  
 Ⅲ-3 「健康課題解決のための意図的アプローチ」についての検証  
 ～学校保健委員会を通して～ ○山部 真理（熊本市立河内小学校）

◇口演発表Ⅳ（11:00～12:00） 5階 多目的室……………座長 宮本香代子（岡山大学）  
 <組織活動>

- IV-1 生徒の困り感が楽になり、関係者も楽になる、不登校支援の在り方  
 ～関係諸機関との連携を円滑にする、楽楽ケース会議を通して～ ○貞光 香子（菊陽町立武蔵ヶ丘中学校）  
 IV-2 養護ニーズを有する児童生徒へのスクールソーシャルワーカーとの連携による支援の実態  
 ○中庭 亨子（埼玉大学大学院）他  
 IV-3 学校教職員を対象とした嘔吐発症時対応研修プログラムへの一考察  
 ～養護教諭が行う効果的な校内研修の提案～ ○岡崎由美子（学校法人就実学園就実小学校）他  
 <保健室経営>  
 IV-4 養護教諭複数配置の利点と問題点～経験者の語りから～ ○中森あゆみ（武庫川女子大学大学院）

◇口演発表Ⅴ（10:10～11:25） 6階 会議室A B……………座長 大川 尚子（関西福祉科学大学）  
 <健康教育>

- V-1 A高校ラグビー部員へのけがを防止するための食を中心とした身体づくり支援  
 ○大沼久美子（女子栄養大学）他

- V-2 学校における心肺蘇生教育の効果的な指導方法に関する研究 ○吉田 智子（関西創価中学校・高等学校）
- V-3 養護教諭が関わる医薬品の教育について～生徒保健委員会を活用した取組の検討～  
○香田 由美（福岡県立門司学園高等学校）他
- V-4 大学生の視力に対する意識と保健指導に関する研究～う歯との比較～ ○高橋つかさ（弘前大学大学院）他  
<その他>
- V-5 養護教諭が作成する保健だよりに関する検討～養護教諭を対象とした実態調査を通して～  
○井上 由貴（尚絅大学短期大学部附属幼稚園）他
- ◇ポスター発表Ⅰ（10:10～11:10） 5階 ホワイエ……………座長 矢野 潔子（静岡大学）  
<健康教育>
- P-I-1 入学前の保健学習状況に基づく大学でのメンタルヘルス教育のあり方の検討  
○大島 紀人（東京大学）他
- P-I-2 小学生の睡眠の実態に応じた保健指導～就寝前の生活習慣に着目して～  
○土井 梨沙（荒川区立尾久小学校）他
- <保健室経営>
- P-I-3 子どもの視点からみた養護教諭の役割と保健室の機能 ○須藤愛理菜（北翔大学）他
- P-I-4 中学校養護教諭による状況適合的な保健室運営方法 ○中山あやね（鈴鹿大学短期大学部）
- ◇ポスター発表Ⅱ（11:10～11:55） 5階 ホワイエ……………座長 加藤 見子（滝学園滝中学校滝高等学校）  
<養護実践>
- P-II-1 安全を意識して生活できる児童の育成  
～小学校における発達段階に応じた保健指導デザインの提案～ ○渡邊真電子（台東区立富士小学校）
- P-II-2 養護教諭の経験年数による一人前意識の変化 ○石田 有紀（久留米大学大学院）
- P-II-3 養護教諭の熟達化に変化をもたらす実践について  
～退職養護教諭の初任からの振り返りを通して～ ○小林 央美（弘前大学）他
- ◇ポスター発表Ⅲ（10:10～11:10） 5階 ホワイエ……………座長 佐藤 順子（長崎県立大学）  
<養成教育>
- P-III-1 特別な支援を必要とする児童・生徒とのかかわりを視野に入れた養護教諭養成  
○関根 夢（九州看護福祉大学）他
- P-III-2 養護教諭の力量形成に関する認識～健康教育を中心として～ ○棟方 百熊（岡山大学）他
- P-III-3 大学生の持つ養護教諭と保健室の印象（1）  
～保健室のイメージ～ ○平松 恵子（びわこ学院大学）他
- P-III-4 大学生の持つ養護教諭と保健室の印象（2）  
～保健室における相談内容と養護教諭に求められるもの～ ○新沼 正子（近大姫路大学）他
- ◇ポスター発表Ⅳ（11:10～12:10） 5階 ホワイエ……………座長 岡本 啓子（畿央大学）  
<養成教育>
- P-IV-1 養護教諭を目指す学生の救急処置への不安  
～養護実習前後での意識の違いから～ ○山田 玲子（北海道教育大学札幌校）他
- P-IV-2 看護実習で学びを引き出す看護実習要項の在り方  
～養護教諭養成課程における看護実習の効果的な学びを目指して～ ○城戸 裕子（愛知学院大学）
- <現職教育>
- P-IV-3 初任の養護教諭がかかえる実践的能力の課題について  
～アンケート調査（自由記述）からの分析～ ○櫻田 淳（埼玉県立大学）他
- P-IV-4 Webを利用した事例検討「教えて達人」に見る養護教諭の資質向上への示唆  
○高橋佐和子（聖隷クリストファー大学）他

## 学会活動委員会の取り組みについて

三木とみ子（学会活動担当常任理事）

### 1. 学会活動委員会活動の根拠について

学会活動委員会は次の規定によって活動している。

- 会則第12条において「学会活動委員会は本会の目的を達成するために必要な研究事業を行う。」
- 会則実施細則第11条において学会活動委員会は次の事項に関する事業を行う。
  - ①養護教諭の専門領域に関する用語の検討
  - ②養護教諭の資質向上や力量形成に関する事項の検討
  - ③その他養護教諭教育に関する検討
- 常任理事に関する内規第5条において「学会活動担当常任理事は学会活動委員会に関する会務を処理する。」

### 2. 学会活動担当理事について

学会活動担当理事は、加藤晃子（滝学園中・高等学校）、小林央美（弘前大学）、宮本香代子（岡山大学）、と三木とみ子（女子栄養大学）があたる。活動内容は以下の通りである。

### 3. 活動内容

#### (1)「養護教諭の倫理綱領検討特別委員会」の設置による検討

養護教諭の倫理綱領検討特別委員会（以下、特別委員会）の委員は学会活動担当理事に加え、会員より鎌田尚子氏、中村朋子氏、中村道子氏及び後藤理事長によって構成している。本学会としての養護教諭の倫理綱領案作成の経過はすでにハーモニーで報告している。

昨年度までの検討では、ハーモニー第65号送付時に意見募集を行い、第22回学術集会（千葉）の総会において倫理綱領の「前文」及び「各条文項目」を提案した。結果、前文に「高潔」の用語を追記するなどの一部修正を行うことで承認された。これをもとに特別委員会で各条文の内容を検討し、本年6月発行のハーモニー第67号送付時に会員から意見を求めた。

さらに有識者からの意見をいただき特別委員会において検討修正を加え、本ハーモニーで再び会員から意見聴取したのち、平成27年10月の総会に提案し、承認後、公表したいと考えている。

#### (2)「養護教諭の資質能力検討向上ワーキング」の設置

教員の資質能力の向上が中教審で検討されている。また、養護教諭養成に関わる団体等で養成カリキュラムの在り方が検討されている。学術団体である本学会においてもこの視点から検討するため「養護教諭の資

質能力向上検討ワーキング」を設置した。

ワーキングのメンバーは、学会活動理事に加え、古賀総務担当常任理事、大川ハーモニー担当理事、河田学術担当理事である。

昨年度は、第22回学術集会のプレコンgresにおいて「養護教諭の資質能力に関する力量形成とその担保」のテーマでワークショップを実施した。

ワークショップでは、養護教諭の職務役割に基づき、現場の養護教諭の経験に基づくエピソードを切り口に今後さらに必要とされる資質能力、知識、技術をあげ、それに相当する養成科目等を検討していただいた。

今年度は養護教諭の資質能力の向上に向け、すべての会員へのアンケートの実施を視野に、その準備のためのワークショップを熊本学会のプレコンgresで実施したいと考えている。多くの皆様のご参加を期待している。

#### (3)「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」の見直しに関する活動

ハーモニー等を通して解説集〈第二版〉活用の啓発を図る。また、常時意見を募集し、意見があれば理事会で検討し、必要があれば修正作業をする。今後はHPでの全文掲載についても検討する。なお、現在、1冊500円で販売しているので購入希望の場合は事務局にご連絡下さい。

## 「災害について考える」②

### 『突然の災害で』

山村 保古（広島市立城山北中学校）

平成26年8月20日の未明、激しい雨音と鳴り響く雷鳴、光統ける稲妻で目が覚めました。窓の外を覗くと家の前の道に川のように水が流れています。「ただ事ではない」恐怖心を覚えました。朝、ベランダに出ると、何もなかったかのようにいつも通りの景色でした。しかし、何かが違う。見慣れた西の山の木々の間に何本もの土色の線が走っています。私の自宅は、勤務する学校から東に3kmの所にあります。しばらくするとヘリコプターが大きな羽音を立てて、何機も飛び回り始めました。テレビでは、土砂崩れや一階部分が土砂に埋まった家屋などが映し出され始めました。

「大変なことが起きている」胸騒ぎを抑えながら、学校へ到着しました。中学校区内で起きた大きな土砂崩れにより、職員室では、職員が学区の地図を広げ、電話対応に追われていました。各学年で分担し、全生徒の安否確認、被害状況の確認が始まりました。午後になり、不明生徒やケガをした生徒、非難している生徒がいることも明らかになりました。

翌日からは、全教職員で避難所を回るなどして、生徒一人ひとりと連絡を取り、心身の健康状態の確認を行いました。また、学校再開に向け登下校での危険箇所の確認、制服や教材が使用できなくなった生徒の対応、教育相談の準備…。それらの合間には、学区内の土砂撤去作業、避難所の手伝いなど、教職員それぞれが奔走する日々が続きました。

私は、中学校区内の2小学校の養護教諭と連絡を取り、災害に関する資料を必死で読みあさり、『子どもたちの心のケアを呼びかけるチラシの作成』、『心のケアの進め方』の検討を始めました。スクールカウンセラーとも連携し、今後の子どもの変化への対応等について相談をしました。

それまで市教委の災害対応マニュアルを読んだこともなく、災害後の心のケアの在り方、PTSDに関する知識に対して確信がなく不安な毎日でした。しかし、「適切な対応をしなくては」と、気持ちばかりが焦りました。校内ではそれぞれの立場から、様々な言葉が飛び交います。私はそれに振り回され、何が正しいことか分からず、何をすることも自信を持てなくなりました。

学校はいつも突然に一大事が起こります。それが想定外で、子どもの生命に関わる大きな出来事であれば、ほとんどの人が冷静な対応はできません。当たり前ですが、日々、日本全国で起こっている学校での事件や事故を対岸の火事とせず、今勤務する学校で可能な最善のマニュアル作成と、定期的に教職員で見直す必要性を強く再認識しました。また、校外との連携協力を図ることはもちろんですが、養護教諭は校内では少数派です。校種を問わず校外の養護教諭との横のつながりが、いざという場面で、養護教諭の専門性を活かしたより適切な緊急対応につながるのではないかと感じました。

養護教諭として災害後の対応がままならないこともたくさんありましたが、いつも声をかけ、協力応援してくれた養護教諭の仲間が存在が今の私を支えています。今回の経験からまだまだ学ぶべきことが多くある事を痛感しました。経験した自分に出来ることを探しながら、日々を大切に過ごしたいと思っています。

## 『私の実践と研究』リレーレポート①

『研究の楽しさがめばえるとき・・・』

米嶋美智子（鳥取大学教育学部附属小学校）

私が学生時代に、恩師より本学会の参加の意義を熱く教えていただき、ノートに「日本養護教諭教育学会」と記したことを今でも鮮明に覚えています。本学会に継続的に参加することで実践研究に取り組むようにな

り、研究の奥深さを痛感すると共に楽しいと思い始めるようになりました。今回は、日々行っている実践や研究の取り組みについてご紹介したいと思います。

本校では、いじめのない学校にするために2000年度より相談室前に相談箱を設置し、児童の紙上相談にのるピア・サポート活動を前任の先生より継承して行っています。これは、児童健康委員会の心の健康活動の一つです。相談箱に投函された相談内容に、メンバーそれぞれが対応選択肢を考え、相談室前に返答を掲示し、コミュニティ全体で相談内容や、回答選択肢を共有する仕組みになっています。小さな相談から、時には大きな相談まであり、相談者は被害者ばかりではなく、傍観者からの相談もあります。また、この実践は、児童ピア・サポーター自身の「人を助ける勇気がついた」「相手を大切にできるようになり、友達が増えた」などの成長も期待できる活動もあります。さらに、メンバーと養護教諭が悩み相談活動をする中で、メンバーからも「実は、私もこんなことで悩んでいます」と、悩みを相談しやすい安心した集団仲間づくりもできています。このように相談箱の設置は大変効果があると確信しています。

私自身、養護教諭としては、児童が日々どのようなことで悩んだり、困ったりしているのか、学年の発達段階の実態を把握し、これをもとに、児童発達心理の研究に勤しんでいます。児童発達心理については、私が養護教諭として力をつけたいという思いから、平成23年度に、社会人大学院生として本格的に学び始めました。そして、臨床発達心理士の資格を習得し、多種職の仲間同士で、月に1回の勉強会を行っています。実践から出てきた課題を研究仲間に助けられながら追求しています。現在では学び続けることで、特別な支援を要する児童たちの深い理解者となることもできるようになりました。

最後に、本学会にて、実践研究を発表すること、恩師をはじめ学会員の皆様とお会いできることを楽しみに、これからも実践、そして研究に勤しみたいと思います。

## トピックス

中央教育審議会

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について(中間まとめ)(平成27年7月16日)」への意見募集

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会において、みだしの中間まとめが出され、本学会にも担当の教職員課から養護教諭の立場から意見を求められています。

提出期限の都合上、時間がありませんが、ご意見のある方は平成27年9月16日(水)午後5時までに学会事務局までメールかファックスでお知らせください。

中間まとめは ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/002/houkoku/1360150.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/002/houkoku/1360150.htm)) をご覧ください。

## 日本養護教諭教育学会2015年度総会告示

理事長 後藤ひとみ

下記の日程で2015年度総会を開催致します。

欠席される方は、同封の委任状を9月30日(水)必着にてお送り下さい。

- ☆日 時：2015年10月11日(日)  
13:30~14:30
- ☆場 所：くまもと森都心プラザホール
- ☆議 題：1. 2014年度事業報告  
2. 2014年度決算・監査報告  
3. 2015年度事業経過報告  
4. 2015年度補正予算審議  
5. 2016年度事業計画  
6. 2016年度予算審議  
7. 研究助成金対象研究の選定  
8. 養護教諭の倫理綱領について  
9. 第25回学術集会(2017年)開催地  
10. その他

## 学会誌第19巻第2号の投稿原稿の募集

(2016年3月発刊予定)

編集委員会委員長 斉藤ふくみ

わが国において「養護教諭」を冠した学会誌は本学会誌のみです。その名にふさわしい養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動に関わる研究成果(論文)を募集いたします。第19巻第2号(2016年3月発刊予定)への投稿締め切り2015年9月30日(水)が迫ってまいりました。投稿される際には、投稿規定等(学会誌第18巻第2号69~76頁)を熟読して、十分推敲した原稿をご投稿ください。昨年の第22回学術集会で発表された研究を論文としてまとめて投稿いただくなどご検討ください。また、第23回学術集会で発表される研究につきましても、第20巻第1号以降の本学会誌投稿を視野に入れていただけましたら幸いです。

○投稿資格：本学会会員であること。

○論文の内容・テーマ：本学会の目的(会則第2条「本学会は、養護教諭教育(養護教諭の資質や力量の形成

及び向上に寄与する活動)に関する研究とその発展を目的とする。)]にかなう論文であること。

○「研究目的・研究方法・結果・考察」が論理的に一貫していること。

○倫理的に問題がないこと(学会誌第18巻第2号68頁の本学会倫理綱領を参照のこと)等です。

編集委員会でしばしば議論される点は、①研究目的の明確性、②研究方法の妥当性、③図表の大きさ・多さ、④規定枚数の超過、⑤論旨の不明瞭さ等です。ご留意ください。なお、査読と修正に大幅な時間を要する場合は、次号に持ち越しになる場合があります。ご承知おきください。

## <編集委員会事務局>

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号  
茨城大学教育学部教育保健教室 斉藤ふくみ  
TEL/FAX 029-228-8298(研究室直通)  
e-mail: fukumi@mx.ibaraki.ac.jp

※修正とお詫び：ハーモニー第67号にて、Ⅶ期編集委員のご紹介をしましたが、一部誤りがありました。正しくは以下の通りです。

中川 優子(藤沢市立鶴沼中学校)

## 理事会議事録報告(要旨)

総務担当常任理事 古賀由紀子

### <2015年度第1回理事会報告>

1. 日時：2015年4月5日(日) 14:10~16:40
2. 場所：女子栄養大学駒込校舎3号館3303教室
3. 出席者：大川、加藤、河田、古賀、後藤、小林、斉藤、鈴木、塚原、圓岡、三木、宮本、森
4. 議事

1) 日本養護教諭教育学会の第Ⅶ期運営体制と役割分担について

- ①理事長 ②常任理事(総務、学会活動、学術、学会誌編集) ③総務(庶務、会計、渉外) ④学会誌編集(学会誌、ハーモニー) ⑤学会活動 ⑥学術 ⑦事務局(事務局長、幹事) ⑧監事

2) 2015年度事業について

・編集委員の人選については理事会に報告することを確認した。

・「養護教諭の倫理綱領検討特別委員会」は新学会活動委員の理事3名を加え、新旧のメンバーとすることを確認した。

・養護教諭の資質向上と力量形成について、「養護教諭の資質能力向上検討ワーキング(仮称)」の

設置等を学会活動委員会で検討した後、理事会で決定することを確認した

- ・ハーモニーも学術刊行物として申請することとした。
- ・種々の規約を整理し、改正について検討することとした。

## 監事の紹介

「よろしくお願ひいたします。」

津島ひろ江（関西福祉大学）

1992年、本学会の前身である全国養護教諭教育研究会が設立されました。そこに参加した私はその当時、短期大学での養護教諭養成に情熱を持っている頃でした。以来23年を経過して、本学会の監事としての委嘱を受けさせていただくことになりました。役員の皆様がより良い活動ができることと学会の発展を祈念して、役割を果たしたいと思ひます。

「新たな視点で」

佐藤 倫子（札幌市立二条小学校）

この度監事をさせていただくことになりました。会の運営という視点で本学会に関わる機会をいただいたと考えております。はじめての役職で不安もあります。精一杯務めたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 幹事の紹介

「手続きの迅速さを目指します。」

稲垣 杏菜（愛知県立一色高等学校 全日制）

この度、幹事をさせていただくことになりました稲垣杏菜です。事務局長のもと、会員の皆様の手続きがよりスムーズになるよう精一杯努力させていただきたいと思ひます。今後とも本学会へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

「よろしくお願ひいたします。」

岩田 祥（一宮市立大志小学校）

この度、幹事として務めさせていただくことになりました。まだ、養護教諭としての経験も浅く、力不足ではありますが、少しでもお役に立てるように努めていきたいと思ひます。そして、活動を通して自分自身の力量の向上を目指していきます。よろしくお願ひいたします。

## 事務局より

圓岡 和子（事務局長）

●養護教諭の倫理綱領（第二案）へのご意見を！

同封しました養護教諭の倫理綱領検討特別委員会提示の案についてご意見をお寄せ下さい。

●住所等変更はお早めに連絡を！

転勤・就職などで連絡先が変更になった方は、メールかFAXにて事務局まで速やかにご連絡ください。特に学会誌等の届け先を勤務先に指定している方は、転勤・転職が決まりましたら、事務局にもご一報下さい。

●学術集會内に事務局ブースを開設します

第23回学術集會の会場内に本部事務局を開設します。年会費の納入の他、新入会の受付、会員登録の変更などの諸手続きができます。まだ年会費を納入していない方も、どうぞご利用下さい。また、学会誌の販売も行っています。通常は非売品としている第9巻第1号以降の学会誌も、学術集會中に限り販売しています。会員以外の方も購入できますので、この機会をご利用下さい。

●委任状の提出をお願いします

2015年度総會に欠席される方は委任状の提出をお願いします。同封した委任状に必要事項をご記入の上、52円切手を貼って、9月30日（水）必着で事務局までお送り下さい。

●年会費の納入をお願いします

年会費を納入していない方は、できるだけ早く納入してください。

●「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集〈第二版〉」販売中です

用語の解説集を会員外の方にも、1冊500円で販売しています。10冊以上でお申ひいただくと送料無料です。まだお持ちでない方にどうぞ紹介ください。お申ひは事務局まで。

## 編集後記

今年も猛暑が続き、熱中症患者の発生が多く報告されています。また、集中豪雨、雹（あられ）、竜巻など異常気象も多く見られました。

「災害について考える」の第2回目は広島県の山村保古先生に昨年の土砂災害のご報告をしていただきました。会員の皆様それぞれの立場で、その時何ができるのかということ改めて考えてみる機会としていただければと思ひます。

9月とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。子どもの健康管理と共に、先生方も十分ご自愛ください。

(N. O)